

岐阜県大野町 名鉄廃線敷を利用した通学路整備(黒野北野畑線ほか2路線)

◆H26年度通学路安全点検時の様子(大野小学校区)

①



五差路であり、道路幅員も狭く非常に見通しが悪い。住宅街にある重要な生活道路で交通量も多い。今年度、交通事故も発生しており、通学児童が巻き込まれることが懸念されている。H27年度カラー舗装施工予定であるが、住宅密集地で根本的解消が困難で暫定措置である。

③



大野小学校北側の東西道路であり、多くの児童が通学路として利用している。塀等の障害物が多く、線形も悪いため、見通しが悪い。通学時間帯は、道路幅員が狭い上に、徒歩の児童、自転車の生徒と車が混在し、非常に危険な状態である。

岐阜県大野町 名鉄廃線敷を利用した通学路整備(黒野北野畑線ほか2路線)

◆H26年度通学路安全点検時の様子(大野小学校区)

④



現在カラー舗装施工済であるが劣化しておりH27年度再度施工予定。東西南北全ての道路幅員が非常に狭く、見通しも悪い。通学時間帯は、車両の通行が困難な程で、児童が車や自転車と接触してしまう危険性がある。

⑤



通学路の横断道路は、商店街への幹線道路であり、交通量が非常に多い。横断歩道は設置してあるが、住宅があり見通しが悪く、待ち場も狭い。南北道路は幅員も狭く、右左折時に児童が巻き込まれる危険性も高い。

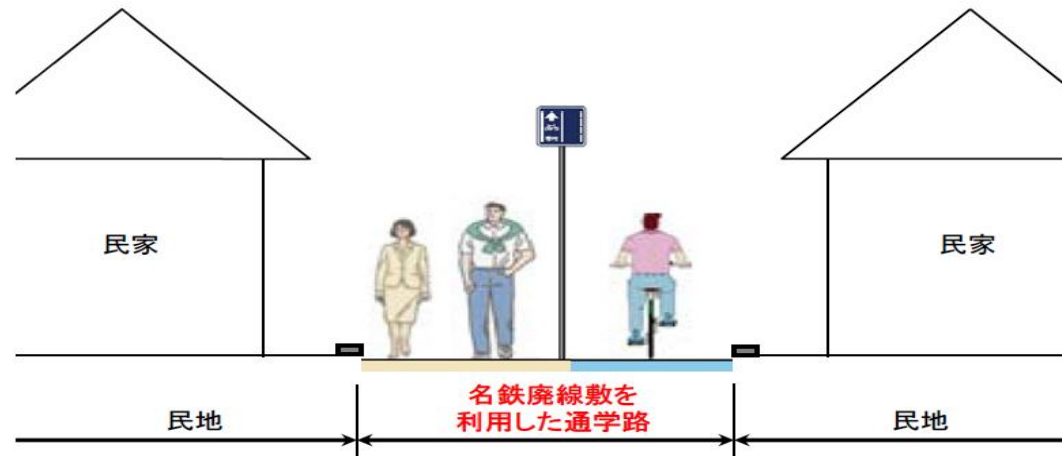
岐阜県大野町 名鉄廃線敷を利用した通学路整備(黒野北野畑線ほか2路線)

<通学路の現状>

現在の通学路は点検結果にもあるように、幅員が狭く、見通しが悪い、加えて交通量が多く、通学路として危険な箇所が多い。しかし、住宅地で道路拡幅や歩車分離が困難であり、危険であるが代替え路が無く、出来る限りの対策を行い、やむおえず通学路にしているのが現状である。H26年度より策定した通学路交通安全プログラムを元に通学路を整備していく計画があるがカラー舗装や標識の設置など運転者に注意をうながすことができるものの、根本的な解決にはならない暫定的なものである。



名鉄廃線敷を利用した通学路イメージ



<通学路の整備方針>

現在、活用されていない名鉄廃線敷を利用することで更なる学童通学の安全を図る。上図のように車両の通行を緊急災害時以外不可とし、更に歩行者と自転車を分離することで、安全性の向上を図る。H27年度より用地買収を開始し、地域住民の意見を取り入れながら順次施工予定。